

## 日独6大学コンソーシアム 4th German-Japanese University Presidents' Conference に参加しました (2015/4/16-17)

テーマ：日独共同研究、災害リスク、災害科学技術

場所：東北大学片平キャンパス

URL：<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokusai/exchangej/consortia/> (ヘキサゴン)

HeKKSaGOn (ヘキサゴン) は、日本とドイツの主要大学の研究者及び学生の交流、共同研究の推進、サマースクールの開催など、日独大学間の交流を推進することを目的に、2010年に結成された二国間型のコンソーシアムです。ドイツ側はハイデルベルク大学、カールスルーエ工科大学、グッティンゲン大学、日本側は東北大学、京都大学、大阪大学の計6大学で構成されています。今回は第4回になり東北大学で開催されました。16日の午前中はオブショナルツアーで会議参加者が災害科学国際研究所を訪問し、地震動体験装置「グラングラン」で2011年東日本大震災地震を体験した他、多次元可視化システムによる災害画像やシミュレーション画像の立体視を体験しました。午後は片平キャンパスにて各大学の学長・総長による大学紹介・研究成果報告が行われました。17日は8つのワーキンググループ(WG)に分かれ、分科会が行われました。災害科学国際研究所からは、今村文彦教授(所長)、越村俊一教授、サッパシー アナワット准教授(災害リスク研究部門)、寺田賢二郎教授、姥浦道生准教授(地域・都市再生研究部門)、富田博秋教授(災害医学研究部門)、杉安和也助教(リーディング大学院)が参加し、4番目の分科会「Disaster Risk & Response: Scientific & Technological Issues」を実施した他、7番目の分科会「Japanese-German Neuroscience Research Network Focusing on Psychosis, Affective Disorders & Related Traits」で話題を提供しました。WG4分科会では「学際研究テーマ」と「高等教育テーマ」で発表と討論を行いました。分科会の参加者・話題提供者と発表題目は以下の通りです。

東北大学災害科学国際研究所: 今村文彦教授, 越村俊一教授, 寺田賢二郎教授, 富田博秋教授(WG7), 姥浦道生准教授, サッパシー アナワット准教授, 杉安和也助教

東北大学大学院工学研究科土木工学専攻: 加藤準治准教授

京都大学防災研究所: 多々納裕一教授, 李フシン研究員

京都大学大学院地球環境学堂: 渥美友秀教授

大阪大学大学院人間科学研究科: ショウ ラジブ教授

カールスルーエ工科大学: Friedemann Wenzel 教授(資料提供)

### 話題提供Ⅰ 学生研究テーマ

- (1) Mega disaster and multi-simulation for the mitigation ~Challenges of multidisciplinary numerical simulations~ (寺田賢二郎教授, 加藤準治准教授)
- (2) Disasters by tsunami and storm surge and its estimation and prediction (サッパシー アナワット准教授)
- (3) Post Disaster Business Surveys in the Area Affected by the Great East Japan Earthquake: Summary of Regional and Sectorial Impacts (多々納裕一教授)
- (4) Local Residents Commitment in Post 3.11 Community Reconstruction-Creating "Disaster Game" Crossroad: Oarai" (李フシン研究員)
- (5) Multi-disciplinary for disaster sciences ~Group Dynamics Serving Disaster~ (渥美友秀教授)
- (6) DLR-IRIDeS Collaboration on Disaster Science ~Application of remote sensing and geosciences to identifying and mapping the impact of natural disaster~ (越村俊一教授)
- (7) Collaboration for research and education for disaster risk reduction (カールスルーエ工科大学・Friedemann Wenzel 教授)

### 話題提供Ⅱ 高等教育テーマ

- (1) Inter-Graduate School Program for Sustainable Development and Survivable Societies in Kyoto University (ショウ ラジブ教授)
- (2) Activity of educational program of global safety in Tohoku University ~Future Leaders from the Viewpoint of Global Safety~ (杉安和也助教)

文責：今村文彦, サッパシー アナワット (災害リスク研究部門)  
(次ページへつづく)



学長・総長発表の様子



WG4 分科会の様子



WG4 分科会のメンバー



今村所長による分科会成果発表の様子



多次元可視化システムによる  
災害画像の立体視を体験（災害研棟にて）



地震動体験装置による過去の地震を体験  
（災害研棟にて）